

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門スポーツ実習（剣道）		
担当者(Instructors)	櫻井 秀樹	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>剣道とは、剣の道理や理合を理解しながら、心身の鍛錬を通し、人間形成を目指すのが真の目的である。また、スポーツとしての爽快感を持ちながらスポーツ分野とはやや異なる（武道）のが剣道の特徴といえる。まず、ここではスポーツ（武道）の指導者として、剣道を正しく理解し、実技では基本技能を習得することを目標とする。基本技能は、礼儀作法を始めとし、素振り、防具を着けての基本打ち、地稽古、試合稽古（審判法）などを行う。また、剣道を通して公正・協力・責任など社会的な態度を育成し、安全に稽古ができるよう指導者としての心構えも身につけることを目標とする。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	東邦高校の剣道場や防具（高校共有）等を使用し、教員として最低限の実技指導ができることを目指す。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	第1回 レポート課題（オリエンテーション）	自己紹介（できるだけ詳しく書いてください）部活動や得意なスポーツ 教職を目指す理由、強く影響を受けた先生、こんな先生になりたいなど	□
第2回	目標 剣道の説明 歴史	授業ガイダンス 諸注意 剣道の歴史 学習指導要領における武道の役割 竹刀の説明 等	□
第3回	基本動作 (1) 礼法、正座 (2) 足運び (3) 構え	剣道における最低限必要な礼法、足運び、構えを習得する。	□
第4回	基本技能 (1) 素振り各種	正面素振り、左右の素振り、跳躍素振りなど基本的な素振りを習得する。	□
第5回	基本技能 (2) 足運び（足さばき）	剣道は足運び（さばき）が大変重要だと言われている。基本的な足運びを習得することで、下半身の使い方を身に付ける。	□
第6回	基本技能 (3) 打突（人形・打ち込み台等を打ってみる）	実際に竹刀、人形などを打突し、剣道の打ち方を習得する。	□
第7回	防具をつける・片付ける	防具のつけ方、片づけ方を習得（東邦高校の独自の方法がある）する。	□
第8回	防具をつけて (1) 基本技（切り返し）	剣道の代表的な基本練習である「切り返し」を習得する。 「面、小手、胴」の基本打ちを習得する。1回目	□
第9回	防具をつけて (2) 基本技	剣道の代表的な基本練習である「切り返し」を習得する。 「面、小手、胴、突き」の基本打ちを習得する。2回目	□
第10回	防具をつけて (2) 応用技	応用技である二段技（小手面、小手胴）やつばぜり合いからの引き技、応じ技を習得する。	□
第11回	教員採用試験実技対策	教員採用試験の実技種目（剣道）ができるように指導する。 合わせて教員採用試験の内容を理解させ、教員を目指させる。	□
第12回	基本技能の試験 (1)	基本素振り（正面素振り・左右素振り・跳躍素振り）の試験をする。 併せて評価方法の指導も行う。	□
第13回	基本技能の試験 (2)	防具をつけて、切り返し、基本打ちの試験をする。	□
第14回	試合及び審判法 (1) 試合指導 (2) 審判指導法	試合および審判ができるようにする。	□
第15回	まとめ 評価アンケート	まとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

剣道に関する書籍やDVDなどを視聴する（1時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

素振りの試験は、実際に評価ポイントを説明しながら模擬採点を行い、防具を付けての切り返し、基本打ちは講評を行いポイントの指導する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	剣道の歴史、礼儀作法・基本動作・素振り、防具を着けての技の習得・試合の攻防を身に付ける。また教員の視点に立った指導法を身に付けることを目標とする。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

■授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

対面授業内で実技試験を行う。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	剣道の訓（愛知県剣道連盟） 全日本剣道連盟試合規則および審判規則	
2	必要に応じて資料を配布する。	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	スポーツシリーズQ & A 実践剣道 矢野博・著（大修館）	
2		
3		
4		
5		